

怒濤 正誤表

2021.9.27更新

page	column	line	誤	正	備考
25	L	12	初手より57が成立。	初手より57角等が成立。	
55	L	7	37香, 同成桂, 甲,	37香, 同成桂引, 甲,	
55	L	9	※成桂でとる順序は非限定です。	※成桂でとる順序は最初だけ限定で残り2枚の順序は非限定です。	
73	L	19	正規の	世紀の	
108	R	#40図	玉方96飛	玉方96龍	

追記

page	column	line	
20		4	未発表の作品に短評があるのは「遺作展」もしくは「詩」出題時のものです。
37	R	#47	同一図が野村量氏により詰パラ2002.2に発表されました。
11,34		#40	修正案に余詰がありました。(初手より56歩・46銀打) 平井康雄氏による修正図は下図です。



p94の解説は次のようになります。

A44銀、(イ)同龍、46金、同と、56金、同成桂、77角、66成桂、56と、同銀生、67桂、同銀生、66角、同龍、47桂、同と64角、同龍、45金まで19手詰

(イ)同玉は53角成、同玉(34玉は54飛以下)、54金、62玉、52飛以下。

A64銀打は44玉、53銀生、34玉、14飛、24歩、44銀成、25玉、15金、26玉以下一見危なそうだが、意外に詰まない。

A56銀打は同成桂、77角、66金で逃れ。

(63桂がないと、以下56銀、同銀生、67桂、44玉、53角成以下で詰む)

都不動玉の曲詰です。

初手44銀が強烈な一手。何よりも最初にここを埋めておくのが肝要です。

3手目すぐに56金、同成桂、77角なら66歩合で手詰まりなので、事前に46金と捨ててここを塞いでおく必要があるのですが、と金を近づける不利感があります。

今度は77角に66成桂移動合が最善の応手ですが、このタイミングで47とを原型消去するのが洒落た手順です。

追記2

page	column	line	
108	R	#40	10行目より、 今回は2手省いた図で収載する予定でしたが、有吉氏より作意を生かした修正案の提案をいただき、急遽それに差し替えたのですが、それでも余詰が消えていませんでした。 しかし、修正の可能性を示していただいたのを契機に本格的に修正に取り組んだところ、どうにか作意を生かした修正案にたどりつきました。 63桂の追加で形上の妥協が必要な上、まさかの自陣と金も必要でした。 2手目の変化の味も原作よりかなり落ちますが、そこも妥協せざるを得ませんでした。

後日談

page	column	line	
117			「修正できなかった作品」詰パラ1975.10に添川公司氏が修正図を作りました。下記のページを参照ください。 http://kazemidori.fool.jp/?p=13340 さらに上の頁で紹介している未収録図についても、修正図が作られ詰パラ2021.8「おもちゃ箱だより」のコーナーで出題されました。 詳しくは平井康雄氏のブログを参照してください。 https://blog.goo.ne.jp/yakkun610